

校長室だより

共学共高

第
78
号

令和 7 年 4 月 25 日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武 内 彰

1年生オリエンテーション遠足

あいにくの雨ではあったが、4月23日（水）1年生のオリエンテーション遠足が行われた。入学してから約2週間、あわただしい日々が続いたが、初めての学年行事を楽しみにしている生徒も多いようだ。

引率教員は午前7時30分にJR国立駅前に集合。最も早い生徒はその数分後に到着していた。集合時間は午前8時15分であるから、かなり早いことになる。遅刻するよりはずっといいですね。大したものです。バスが到着するまで駅前で待機していると、今春卒業して国立大学に進学したNさんとぼったり会う。元担任のN先生と言葉を交わしたのち、改札内へと入っていった。元気に頑張ってくれているようだ。

バスが到着したので、私も7号車の前に移動する。すると、一人の生徒が待っていた。「もうバスに乗っていいですよ」と声をかける。徐々に7組の生徒たちが集まってきて乗車していく。午前8時を過ぎた頃、車内にいた生徒たちに「点呼をとって誰がいないか確認して」と声をかける。すぐに生徒たちが反応して、自分の出席番号を順番に言い始める。「校長先生、〇〇さんがまだいません」と返ってくる。「わかった」と声をかけ、バスの前で待つと、ほどなく〇〇さんが到着して7組は全員集合となった。

予定通り午前8時30分に出発する。途中、中央自動車道で断続的な渋滞はあったが、午前9時50分にはお台場へ到着した。往路の車内では、学園歌の歌詞を覚えて斉唱する練習が行われる。担任のN先生が「歌詞を考えながら頭に入れていくように」と伝える。確かに歌詞の意味をつなげていくと覚えやすいかも知れない。私は、着任した当初、学校ホームページの学園歌を毎朝、聴いて覚えたことを思い出した。女性らしい綺麗な歌声が車内に響いていた。また、お台場で班ごとに行うSchool Quest（専用のWebサイトにアクセスして課されるミッションを一つ一つクリアしていく）に挑戦する。傘を差しながら取り組むので、なかなか大変だ。ミッションは、「この場所ならではのもの」「4か国語で書かれた案内表示」などを写真に収めて提出するといったものだ。なかには、「外国人と一緒に写真を撮れ」「先生を隠し撮りせよ」などというミッションもある。



途中で出会った生徒たちは、「ロシア人で英語が通用しなくて大変でした。でも、Photo、photo と言って、スマホを見せたら、わかってもらえました」と言うではないか。確かに英語が通用しないとコミュニケーションをとるのは大変だ。よく頑張った。また、ある生徒は「校長先生を隠し撮りするとポイントが高くなるのですか？」と問うてくる。「それはないですよ」と返答する（実際のところは定かではない）。途中で班員全員がジャンプしている写真や、後ろ向きで頭上にハートを作っている写真のカメラマンを依頼された。その他にも多々生徒たちからのオーダーに答えた。「校長先生、絶好調のポーズをとってください」という生徒からのオーダーには笑わされた。聞くところによると、「ダジャレを表現した写真をアップするミッション」らしい。同じミッションで「傘がかさばる」という写真をアップした班もある。







午前 11 時を過ぎたので、私はゆりかもめで台場駅から市場前へ移動する。さらに、市場前駅から「The BBQ Beach Toyosu」へと徒歩にて移動である。立体歩道で傘を差さずに行けると思って進んでいたが、途中で通行止めになっていたのも、生徒たちと共に道路へ降りて傘を差しながら歩道を進むことになった。

正午になり、予め定められた席につき、班ごとにバーベキューの開始である。昨年の第 61 期生の遠足では、薪で火を起こすところから始めるカレーライスづくりであったが、今回は予め火のついた炭が用意されており、金網をのせて、各自の食材を焼いていけばよいものとなっている。すべての生徒たちの用意が確認できたら、教員チームも同様にバーベキューの開始である。3 種類の肉、カボチャ、ピーマンなどの野菜を各々焼きながら食す。味付けは美味しいと感じられたが、私はタンドリーチキンのソースで白ワイシャツの袖を汚してしまった。帰宅してすぐに洗濯するのを忘れて翌日の朝に洗濯したので、汚れを完全に落とすことができなかった。賢明なる生徒の皆さん、どんな方法がいいのか、家庭科の授業で学んだら教えてくださいね。



どこのテーブルでも笑顔が見られる。初めての学年行事で一層、友達との親睦を深めることができたのではないだろうか。担任の先生に許可を得た後で、アイスクリームの自販機前には白梅生の行列ができていたことを報告させていただく。

この先の約3年間、学びも学校行事も部活動も生徒会・委員会活動も、そして希望する進路の実現も、このメンバーで高め合いながら共に歩んでいくのである。入学式でもお伝えしたが、「高め合う生徒集団」としてさまざまなことに挑戦し、成長していったほしい。

復路のバス内で、「もう国立駅についちゃうの。あと3時間くらいバスに乗って(話して)いたい」という生徒のつぶやきが私の耳に届いた。午後4時前、全員無事に解散である。

(共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す）